

# 令和7年度 看護職員負担軽減計画

看護職員にとって働きやすい職場環境を実現することにより、離職率を減少させ新卒者、既卒者より選ばれる病院を目指す。

部門	取り組み項目	具体的内容
栄養科	食物アレルギーへの対応	・入院時面談にて食物アレルギーや禁忌食品を確認し、食事オーダーリングに入力する。
	低栄養状態の患者の早期抽出	栄養管理において、低栄養状態の患者を早期に発見し対策を提案する。
		・栄養治療実施計画書の作成
検査科	検査データの迅速報告	検査手順の説明の実施。
放射線科	検査についての説明	予約検査における説明や対応。
薬剤部		・薬剤師による持参薬確認業務等の分担 ・DI情報の定期提供 ・繁忙時の臨時薬の配薬セット
リハビリ室		・ベッドサイドリハビリの実施による重症患者移送業務の軽減
医師事務作業補助者	適切な配置・増員 事務作業補助	・病棟における様々な事務的な雑務の実施（検査データ・画像等の資料準備） ・診察の予約、検査、手術の予約及び書類準備。 ・カンファレンス、会議、議事録等の資料作成。
地域医療連携室	病診連携・退院支援	・退院患者コーディネーターの配置（看護師2名 MSW1名） ・介護、福祉関連機関との連携促進を継続する。救急患者との家族との面談で情報収集し在宅復帰への支援を強化する。
臨床工学士	医療機器の管理	医療機器の病棟・透析室等巡回確認。
看護部長室 事務部	シフト調整	・時間外労働が発生しないような業務量の調整。 ・準常勤制度の活用（夜勤減免・時間外免除） ・他部署への配置転換 ・夜勤専従職員の採用 ・月の夜勤回数の上限 ・2病棟制に向けての看護師採用（3階：急性期 2階：地域包括） ・福利厚生（保育料1/2補助） ・看護助手の増員 ・スムーズな職場復帰が行えるよう、原則として休業前の部署及び職務に戻る体制を整備する。